

事業所名		放課後等デイサービス山形コロニー シード天童たかだま				支援プログラム		作成日		令和 7 年		8 月		1 日	
法人（事業所）理念		社会福祉法人山形県コロニー協会の事業は、「当事者主体」「民間性」「企業性」を基本理念に結核回復者の人たちが社会復帰の場として、昭和37年に事業を開始しました。私たちは、早い段階から就労を見据えた活動を進め、将来の自立や就労等の可能性を広げる活動機会を提供しています。社会的・福祉的変遷はあれど、心身に障がいがあっても、生活環境と働く条件が整っているならば、多くの障がい者は社会人として自立していくことができるはずということは決して変わらないものとしています。													
支援方針		①生活力の向上：将来、自分らしく生活する力や、働くための力を培うために様々な機会を提供し経験を通して「できること」を広げる療育支援を行います。 ②ソーシャルスキル学習：学校でも社会でも大切な生活技能を丁寧に繰り返し確認しながら、分からない時や困った時、みんなと仲良く関わるためのコツ等を一緒に確認します。 ③その他：生活訓練、体感運動、微細・着座の活動等を通して、楽しみながら達成感を実感できるように支援します。													
営業時間			9 時	30 分	から	18 時	00 分	まで	送迎実施の有無		あり		なし		
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	通所時の日常生活動作（挨拶、時間意識、衛生管理）が習慣化できるようにします。 自分の荷物の整理整頓、服をたたんでしまう、身なりを整えるなど基本的な生活の身辺処理が身に付くようにします。 おやつをお盆で運び、みんなで楽しく食べる経験と、食器を洗い、台拭きを行うなどの生活力の向上を目指します。													
	運動・感覚	触れて感覚を刺激し探求心を促進する活動を取り入れ、感受性を高めていきます。 日常生活の中で、ボタンをかける、紐を結ぶ、はさみを使う、仕分けるなど、日常生活を送るうえで必要な微細活動を行い、運動機能が発達するよう支援します。 集団活動で身体全体を動かすエクササイズを行い、身体機能の維持、向上を図ります。													
	認知・行動	一日の流れは視覚支援を用いて説明し、不安なく過ごせるようにします。 正しい姿勢を維持し、活動に取り組めるようにしていきます。 集団活動を通して他者とのやり取りの場を提供し、時間やルールを意識させたり、できたことを認めて自己肯定感を育みます。													
	言語 コミュニケーション	言葉のやり取りをしていく中で「見る」「聞く」「話す」などの機能向上を目指し、言葉の発達を促す活動を行います。 丁寧な言葉遣いをを学び、場面ごとに適した声の大きさを調整し、相手を不快にさせないマナーが身に付くようにしていきます。 自分の思いや考えを相手に伝えるように自分の言葉で伝えられるようにします。													
	人間関係 社会性	ルールのある遊びや活動を通して、みんなで活動することの楽しさやルールを守ることの大切さに気付けるように支援します。 地域の人たちと関わったり、公共の施設を利用したりする経験をし、自分の住む地域に親しみが持てるようにします。													
家族支援		保護者が悩み等を自分だけで抱え込まないように、相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、将来の不安を受け止め助言を行います。							移行支援		ライフステージの切り替えを見据えサポートしていきます。 学校や関係機関と連携し、情報を共有し包括的な支援にあたります。				
地域支援・地域連携		地域の人たちと関わる行事（パンの販売、芋煮会、子ども食堂など）を提供し、様々な立場の人と接する機会をつくります。							職員の質の向上		法人内研修（個人情報保護・虐待防止・身体拘束禁止・感染症予防 他） 地域で行われる研修（山形県・山形県社会福祉研修センター 他）				
主な行事等		バスの乗り方教室 夏祭り パンの販売 親子ボーリング大会 芋煮会 シードカフェ 卒業を祝う会													